

第1回よさの地域デザイン会議（岩滝地域）を開催しました

10月8日（金）生涯学習センター知遊館あじさいホールで、「よさの地域デザイン会議（岩滝地域）」を開催しました。ファシリテーターは、福知山公立大学地域経営学部 教授 谷口 知弘 氏です。

本会議は、年齢、性別、居住地区、肩書などが異なる多様な住民に参加いただき、持続可能なまちづくりにおける公共サービスのあり方、それに必要な公共施設のあり方について、対話により多彩なアイデアや提案を収集する場です。

初めての会議のため、はじめにグループ内で4マス自己紹介により緊張をほぐしたあと、町企画財政課から社会の変化や公共施設の現状について説明し、そのあと公共サービスの「利用圏域」を考えるグループワークを行いました。近くにあった方がよい公共サービス、逆に近くなくてもよい公共サービスを「小学校区域」「旧町区域」「全町域」「近隣市町」「遠隔」に分けて模造紙に整理していきます。整理する際は、なぜそのように思ったのか話し合いながら進められました。

他のグループがどのように整理されているかを覗きに行ったあとは、新たな気付きからさらに話し合いが進められ、時間が足りないほどの盛り上がりとなりました。



参加者のみなさまからの主な意見・感想

- ◇施設を減らすことによる移動手段について不安がある。
- ◇自家用車がない高齢者は大変、・バス 2 時間待ち、・スマホを利用した方法はないか。
- ◇公共交通の充実。
- ◇免許返納等が進む中、公共交通の不便さが目立つ。
- ◇免許返納すると、小学校区で施設がないと困る。
- ◇施設を利用したくても、自由に使えない、また行く足がない。
- ◇全ての施設が近くに必要でもない様子。
- ◇図書館は町域でよい。
- ◇図書館を利用する子供が出席すれば近くに必要との意見が出ていた可能性も。
- ◇民間へシフトさせる。
- ◇公共施設の数に対して利用者が少ないのでは...
- ◇高齢者には利用しにくい施設もある（2階にある、遠い etc）。
- ◇避難場所や避難の手段が明確でない。
- ◇遊べる（遊具の多い）公園が少ない、充実していない。
- ◇閉校（園）になった場所を再利用できるのではないか。
- ◇阿蘇シーサイドパークがうまく使えていないのでは？
- ◇町としての特色。”与謝野町はこれ”というものを作ろう。あればもっと観光客に来ていただけるという意見が多かったです。
- ◇町のブランド化を。
- ◇物価が高い。

【感想】

- ◆公共施設を見直す必要性は十分理解できる。
- ◆少数での話し合いであり、自分の生活スタイルが強く出ている可能性はあり。
- ◆時代とともに求められるサービスが変わってくる。
- ◆意識してないサービスがあった。
- ◆楽しかった。（場違いだと思っていたが）
- ◆画期的なことを思いつかなかったという気づきを得ることができた。



問い合わせ先

よさの地域デザイン会議事務局（与謝野町企画財政課）

電話 0772-43-9015（直通） FAX 0772-46-2851

メール kikakuzaisei@town.yosano.lg.jp